

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY®

第64期（2025年3月期）第1四半期決算説明会

2024年7月16日(火)

株式会社ホギメディカル

代表取締役社長

取締役 最高財務責任者

川久保 秀樹

藤田 泰介



将来予測に関する注意事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従って、これら業績見通しに全面的に依拠することはお控え願います。様々な重要な要素により、実際の業績はこれら業績見通しと異なる可能性があります。

本資料に含まれる業績については、監査法人による会計監査を受けておりません。

決算概要



単位：百万円 端数：切捨て	23.6 63期1Q実績		24.6 64期1Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	9,679		9,725		45	100.5%
売上原価	6,083	62.9%	6,322	65.0%	239	103.9%
売上総利益	3,595	37.1%	3,402	35.0%	△193	94.6%
販売費及び一般管理費	2,293	23.7%	2,066	21.3%	△226	90.1%
営業利益	1,302	13.5%	1,335	13.7%	33	102.6%
営業外損益	△72		69		141	
経常利益	1,230	12.7%	1,405	14.5%	175	114.3%
特別損益	△0		△3		△2	
親会社株主に帰属する 当期純利益	886	9.2%	1,006	10.3%	120	113.6%
E P S	36.53円		41.46円			

● 増収増益

● 売上高：増収

プレミアムキットは増売も置換により従来キットは減少

● 営業利益：増益

円安による原価率上昇を、効率的な経費使用で利益を確保

● 当期純利益：増益

原価

： 65.0%(前年比+2.2pt)

〈悪化要因〉

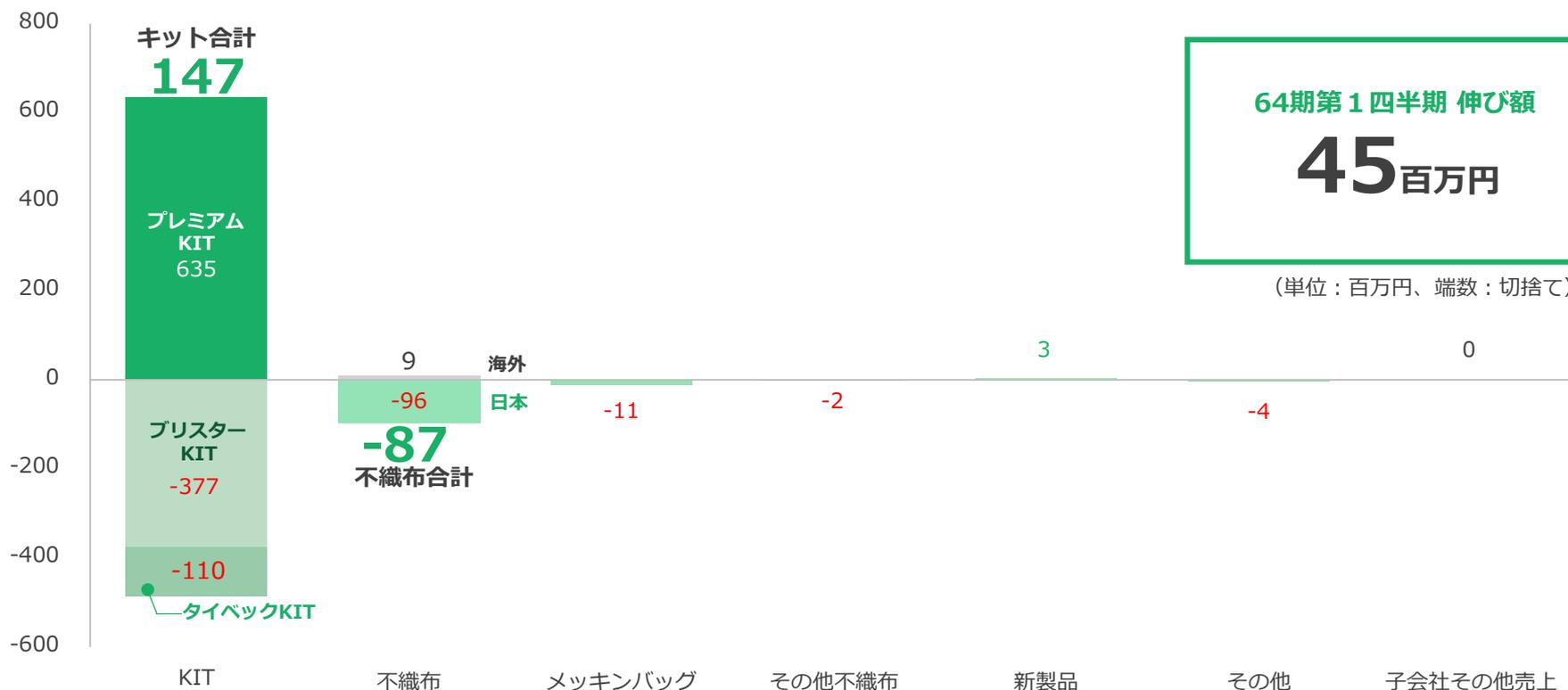
- ： 前期評価影響
- ： 円安による影響

〈改善要因〉

- ： 前期4月開始の新工場Ⅱ期稼働に伴う償却費の減少

販売管理費

- ： △226百万円（9.9%減）
- ： 人件費の減少



64期第1四半期 伸び額
45百万円

(単位：百万円、端数：切捨て)

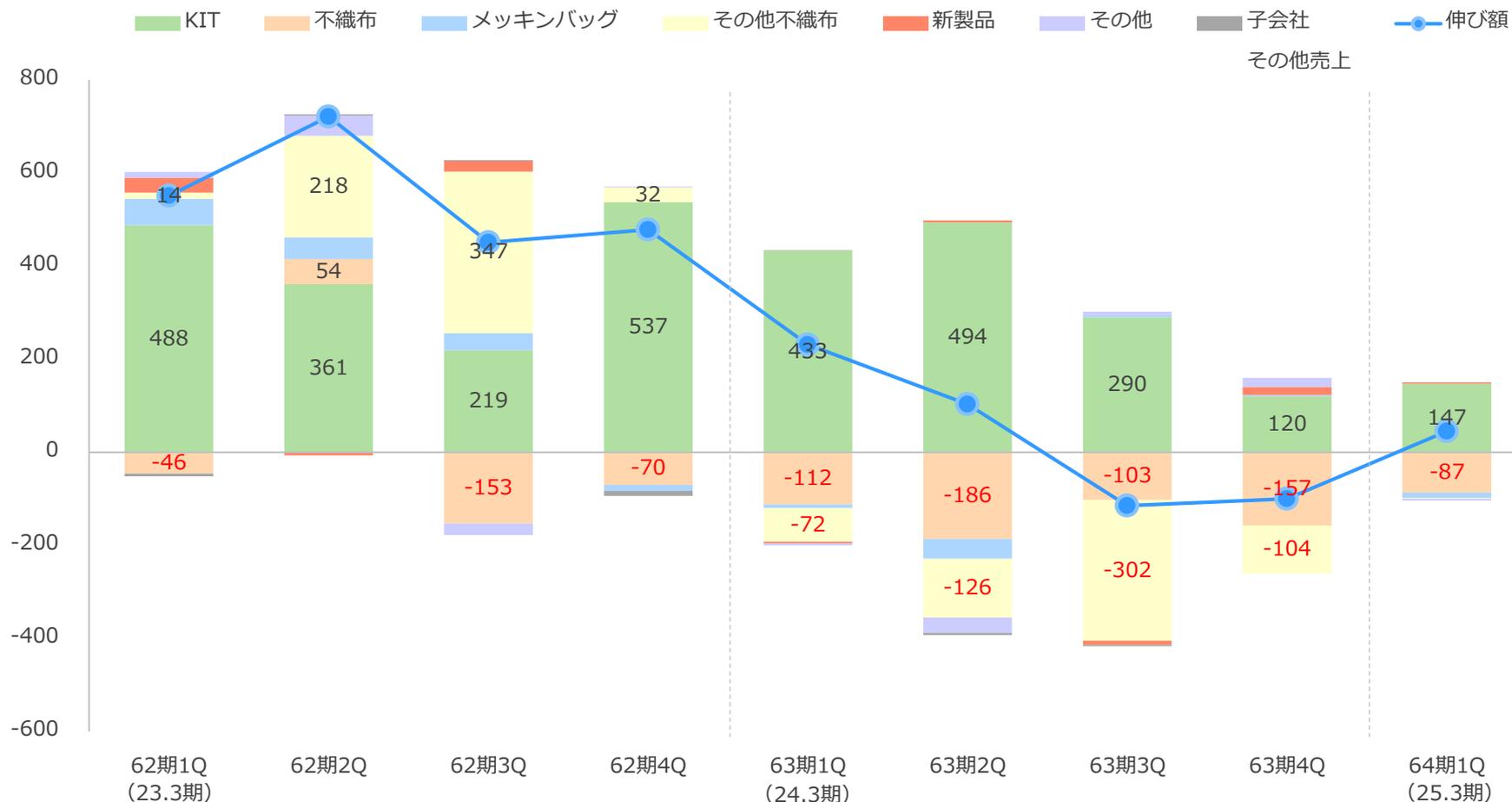
● **プレミアム：新規獲得により前年比24.8%売上拡大、数量では25.0%の増加**

▶ブリスター：プレミアムキットへの置換で数量減少

▶タイベック：2023年3月期にて実施の価格改定影響の一巡と継続してブリスターキットやより内容物の充実が図られているプレミアムキットへの置換により数量減少

● 不織布製品は2022年10月よりガウン製品の価格改定を実施したことにより、販売数量の減少が続く

第64期（2025年3月期）四半期別売上高伸び額の内訳



(単位：百万円、端数：切捨て)

- キット製品はプレミアムキットで増売したものの、置換によりブリストア・タイベックキットの売上高は減少
- プレミアムキットは新規獲得の兆しが一部で見られるものの、営業拠点の格差により結果にバラつきが発生
- その他不織布の高機能マスク製品の第8波の影響によるマイナス影響は2024年3月期末で終了

01

市場環境 (急性期医療)

- **医師の働き方改革の開始**
 - ▶ 外勤先からの医師引き揚げなど、地域医療構想実現に向けた動き開始
 - ▶ チーム医療推進に伴い、タスクシフト・タスクシェアが加速
- **診療報酬のプラス改定も、医療機関の経営環境の厳しい状態は続く**
 - ▶ 新型コロナ対応公費支援（補助金）終了により収入減
 - ▶ 入院、外来ともに患者数がコロナ前水準に戻らず
 - ▶ 急性期体制評価の要件がより高いハードルへ
→ 手術患者が集中への動き
 - ▶ 継続した在院日数の短縮に向けた施策

02

決算のポイント

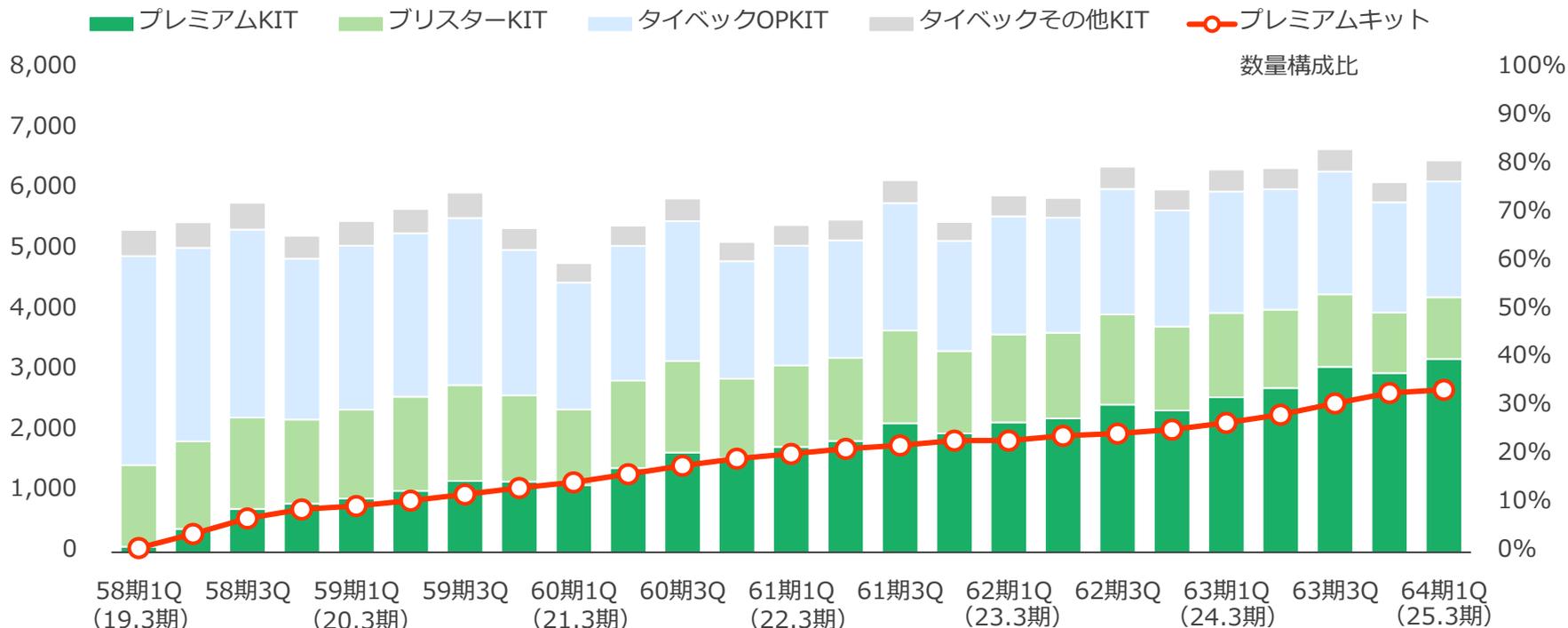
- 新規獲得や置換活動の活発化によりプレミアムキットの増売（前年比24.8%増）
 - ▶ 営業戦略に基づいた成果が一部みられるものの、拠点によるバラつき
- 不織布製品のガウンの価格改定（2022年10月）による一部離反が継続し数量減少
- 円安の影響で原価上昇
- 2023年4月に稼働開始の新工場Ⅱ期の償却費は減少

業績の詳細



● プレミアムキットは、売上高・数量構成比ともに過去最高

(単位：百万円、端数：切捨て)



64期第1四半期 前年同期比

プレミアム

+635百万円

124.8%

ブリスター

△377百万円

73.0%

タイバック

△110百万円

95.4%

キット製品構成比 (プレミアムキット/キット製品)

	63期1Q	2Q	3Q	4Q	64期1Q	前期比
売上高	40.5%	42.7%	46.0%	48.4%	49.3%	+8.9%
数量	26.8%	28.5%	30.8%	33.0%	33.6%	+6.8%

売上高 (KIT製品)

4,239 (百万円)

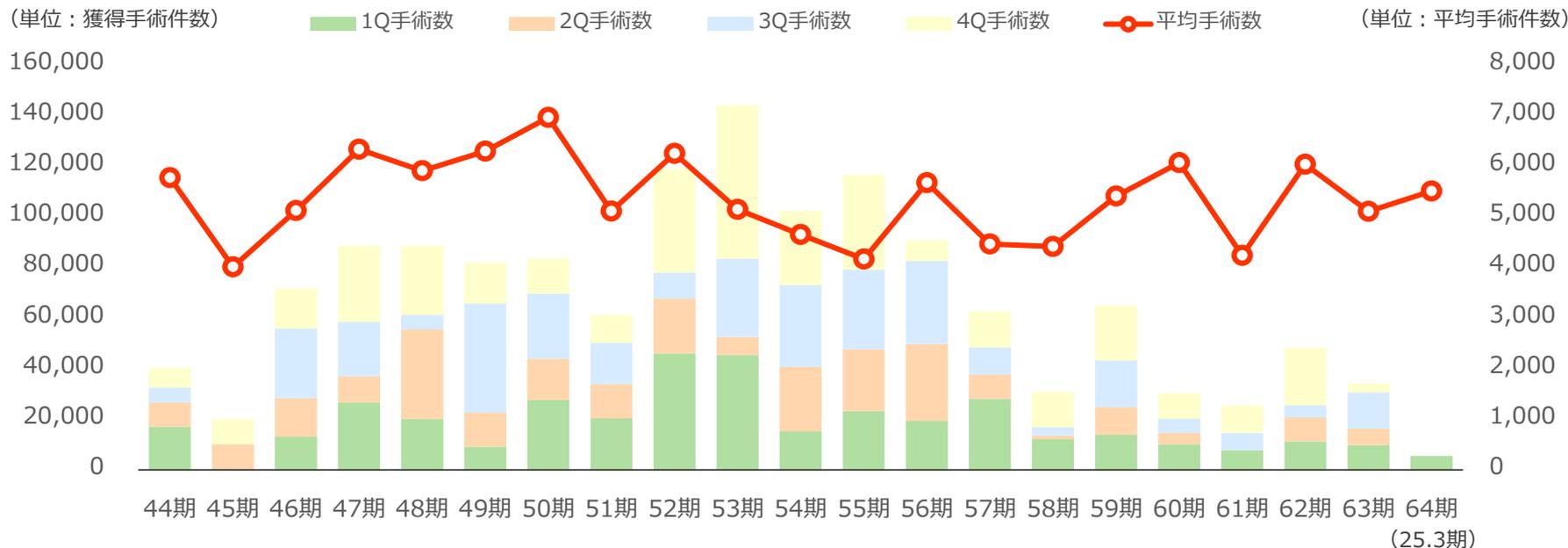
前年比 149百万円 : 103.7%

64期契約施設数

新規 **1**施設

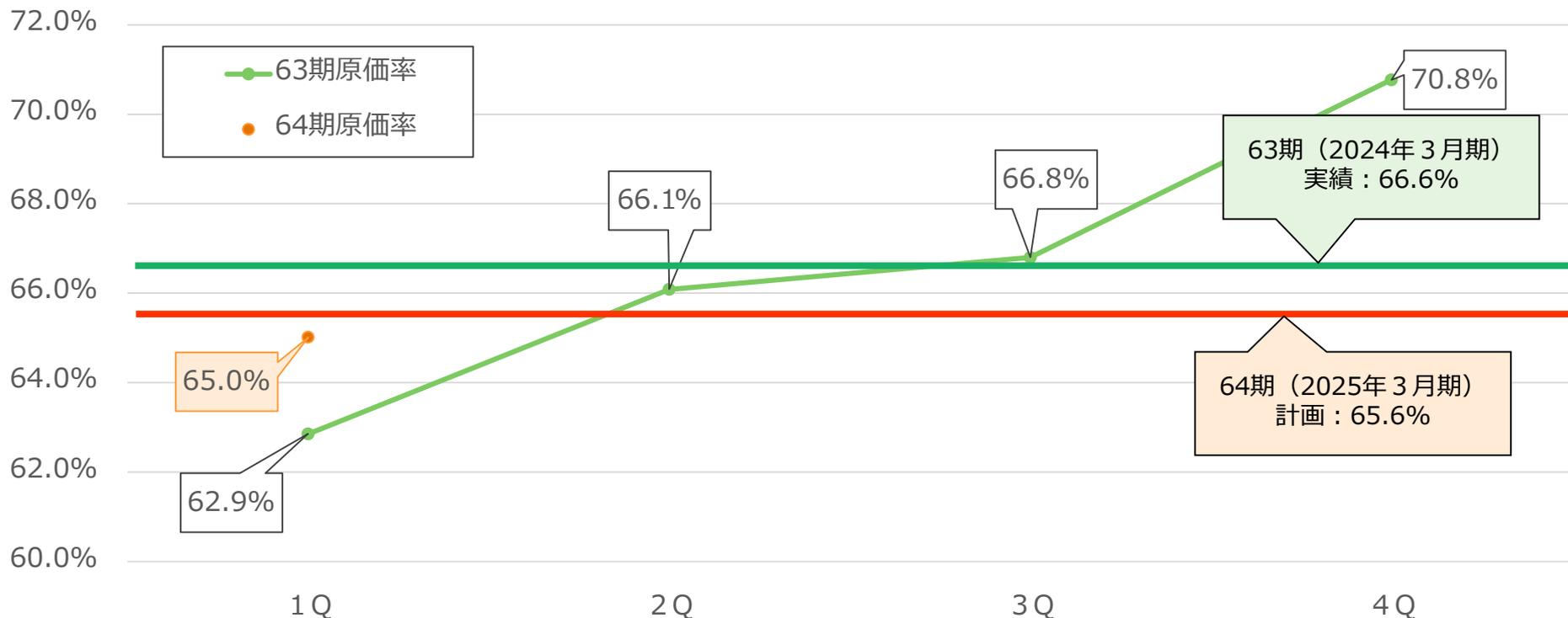
累計契約施設数

255施設



- 64期新規契約病院1件 (DPC特定病院群 (旧Ⅱ群))
- 64期新規契約病院の手術数は約5,500件
- オペラマスター新規契約は患者が集中する地域の拠点病院に注力
- 顧客課題の変化に応じた新サービスのご提案により「働き方、医療の質を高める」支援に変更

第64期（2025年3月期）原価率の推移



64期 1Q原価率 65.0%

63期通期原価率 66.6%

→64期第1四半期原価率は想定通り

● 63期第1四半期との原価率2.2pt.の変動要因

⊖前期評価影響 : 前期末在庫品の標準原価の評価替え影響

⊖為替影響 : コーポレートレート145円を上回るも、インドネシア子会社からの購入量の減少で悪化要因を緩和

⊕減価償却費影響 : 2024年4月稼働開始の新工場Ⅱ期工程の減価償却費は減少

単位：百万円 端数：切捨て	23.6 63期1Q実績		24.6 64期1Q実績		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	9,679		9,725		45	100.5%
売上原価	6,083	62.9%	6,322	65.0%	239	103.9%
売上総利益	3,595	37.1%	3,402	35.0%	△193	94.6%
販売費及び一般管理費	2,293	23.7%	2,066	21.3%	△226	90.1%
営業利益	1,302	13.5%	1,335	13.7%	33	102.6%
営業外損益	△72		69		141	
経常利益	1,230	12.7%	1,405	14.5%	175	114.3%
特別損益	△0		△3		△2	
親会社株主に帰属する当期純利益	886	9.2%	1,006	10.3%	120	113.6%
E P S	36.53円		41.46円			

主な増減科目	前年比
人件費	△150
試験研究費	△37
減価償却費	△22

- 販売管理費：2,066百万円(△226百万円)
 - ▶ 人件費：業績連動に伴う賞与支給総額の減少
- **償却合計：1,407百万円（前年比：229百万円減）**
 - 原価：1,288百万円（前年比：207百万円減）（内新工場Ⅱ期稼働分として1,035百万円）
 - 販管費：119百万円（前年比：22百万円減）
- 設備投資：922百万円
- 64期第1四半期配当額：20円
 - ▶ **配当総額：485百万円**

第64期（2025年3月期）経営計画

—



単位：百万円 端数：切捨て	24.3 63期実績		25.3 64期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	39,100		40,850		1,749	104.5%
売上原価	26,037	66.6%	26,780	65.6%	742	102.9%
売上総利益	13,063	33.4%	14,070	34.4%	1,006	107.7%
販売費及び一般管理費	8,894	22.7%	9,380	23.0%	485	105.5%
営業利益	4,169	10.7%	4,690	11.5%	520	112.5%
営業外損益	76		110		33	
経常利益	4,245	10.9%	4,800	11.8%	554	113.1%
特別損益	△169		-		169	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,804	7.2%	3,310	8.1%	505	118.0%
EPS	115.57円		136.36円			

● 増収増益計画

● 売上高：

1,749百万円、+4.5%

- ・ プレミアムキットは新規獲得で増収
- ・ 新製品 REVICE（単回使用医療機器再製造事業）等での新規を見込む

原価

65.6%

△1.0pt

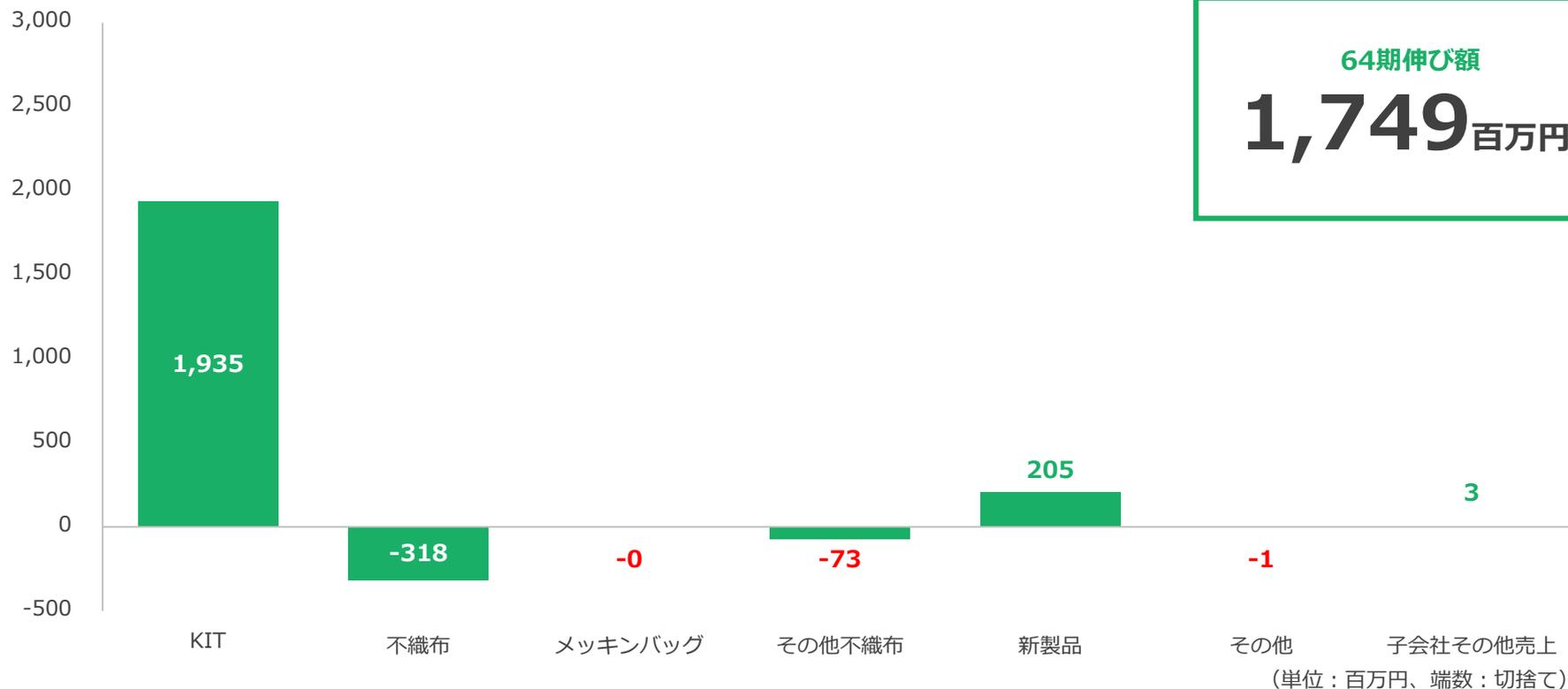
- ： 新工場第Ⅱ期の償却額が減少
- ： 生産性の改善により原価低減を図る
- ： **コーポレートレートは1ドル145円に設定**
（前年1-3Q135円、4Q150円設定）

販売管理費

485百万円

+5.5%

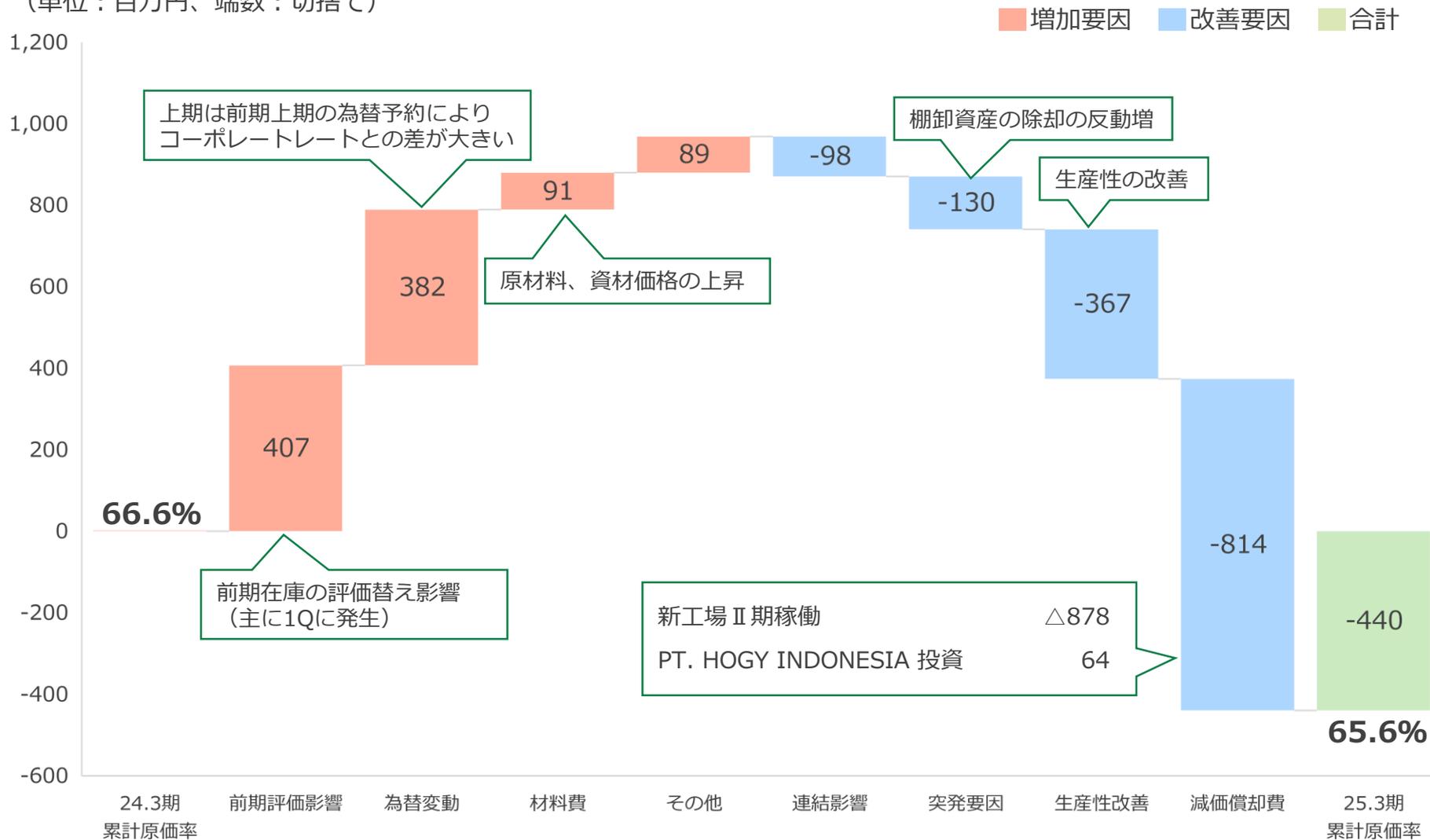
- ： 営業活動に関わる費用、研究開発費の増加
- ： 配送センター等の設備維持のための修繕費用



- **キット製品**：病院の経営課題に対して貢献できる「プレミアムキット」の新規獲得
- **不織布製品**：ガウン製品の価格改定による離反により、販売数量は漸減
- **その他不織布**：高機能マスク製品の一部特需の反動減を第2四半期に受ける
- **新製品**：REVICE（単回使用医療機器再製造事業）等の新規を見込む

第64期（2025年3月期）原価率 主な増減要因【計画】

(単位：百万円、端数：切捨て)



● コーポレートレートは1ドル145円に設定

単位：百万円 端数：切捨て	24.3 63期実績		25.3 64期計画		前年比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	39,100		40,850		1,749	104.5%
売上原価	26,037	66.6%	26,780	65.6%	742	102.9%
売上総利益	13,063	33.4%	14,070	34.4%	1,006	107.7%
販売費及び 一般管理費	8,894	22.7%	9,380	23.0%	485	105.5%
営業利益	4,169	10.7%	4,690	11.5%	520	112.5%
営業外損益	76		110		33	
経常利益	4,245	10.9%	4,800	11.8%	554	113.1%
特別損益	△169		-		169	
親会社株主 に帰属する 当期純利益	2,804	7.2%	3,310	8.1%	505	118.0%
E P S	115.57円		136.36円			

主な増減科目	前年比
研究開発費	173
荷造運搬費	72
人件費	32
見本費	26
減価償却費	△15

- 販売管理費：9,380百万円(485百万円増)

営業活動に関わる費用、製品力強化のための研究開発費の増加

- 償却合計：5,777百万円（前年比：830百万円減）

- 原価：5,220百万円（前年比：814百万円減）内新工場Ⅱ期稼働分として26億円（前年実績33億円）

- 販管費：557百万円（前年比：15百万円減）

- 設備投資：5,270百万円

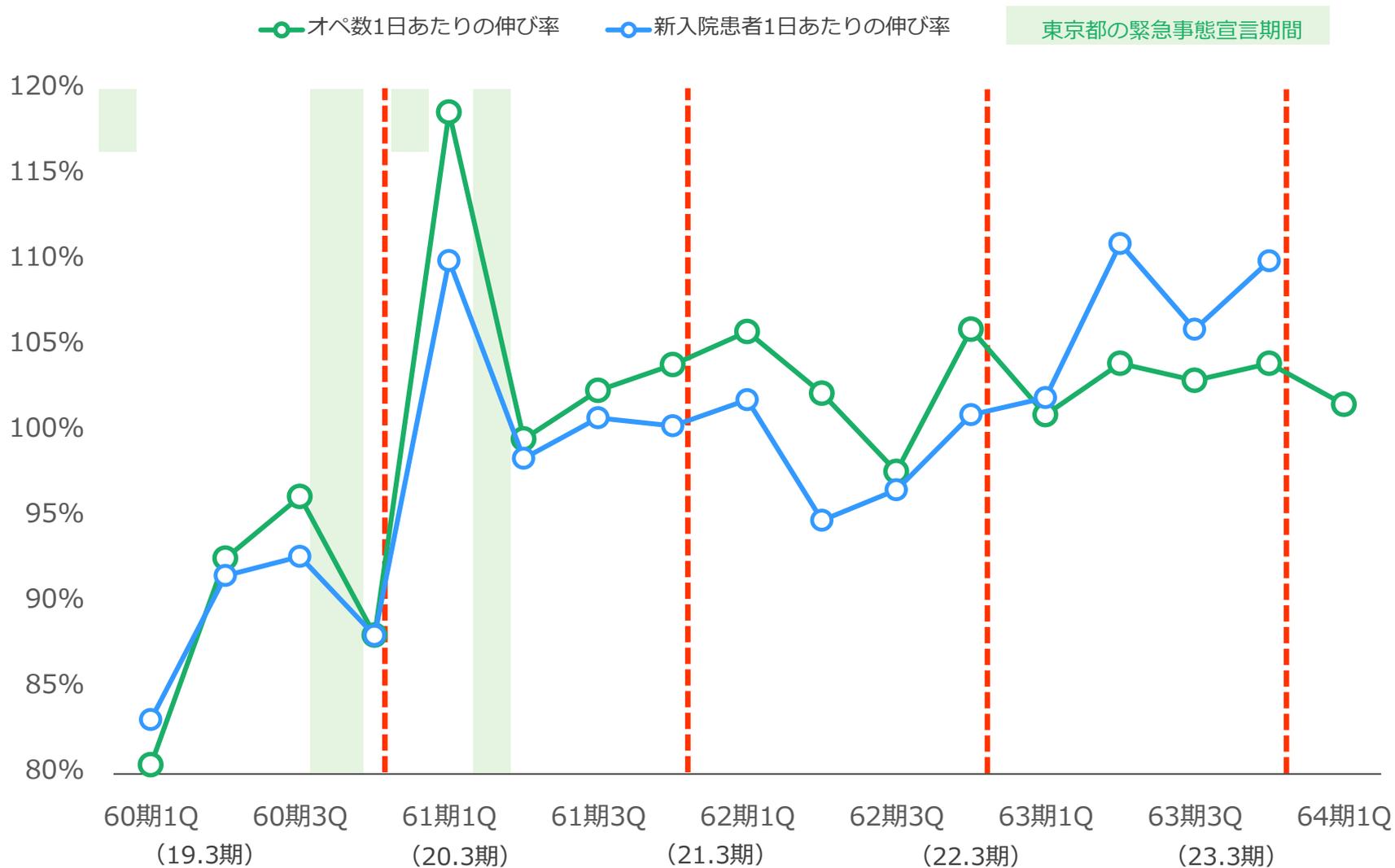
- 年間配当額：80円（四半期配当：20円/期）

參考資料

—



	プレミアムキット	ブリストアキット	タイバックキット (従来キット)
生産場所	<p>新工場 (ムルチ)</p> 		<p>筑波、美浦</p> 
製品形状	<p>手技に合わせて小分けの パッケージにムルチ包装</p>		<p>不織布で包み メッキンバッグにて包装</p>
安全性	<p>自動化生産によるメリット (入れ間違い、異物混入大幅削減)</p>		<p>従来通り</p>
基準	<p>1 症例に必要な材料の 80%以上</p>	<p>1 症例に必要な材料の 80%~30%</p>	<p>使用材料の少ない症例 材料の30%未満</p>



診療報酬改定本体

前年2022年度改定率

+0.88% (+0.43%)

* 下記は厚生労働省の診療報酬改定の概要からホギメディカルが急性期入院医療のポイントのみをまとめております。

区分		政府改定狙い	顧客	当社影響
賃上げ、基本料等の引き上げ ● 初再診料等評価の見直し		40歳未満医師、看護職員等の賃上げの費用を見込んだプラス改定	△	病院の労務費増加をカバーできるプラス改定とはいえず、継続して 経営効率化のご提案
急性期体制評価	高度急性期入院医療	● 宿日直体制やチーム制など働き方 ● 特定行為看護師活用	△	ICUなど高度急性期治療に医師の配置、宿直日直の在り方や定時内手術、緊急手術の在り方など、 急性期らしい生産性の高い働き方を提唱
	急性期充実体制加算見直し	より高度な医療体制へ ● 300床未満廃止 ● 心臓大血管手術要件追加	厳格化	
	総合入院体制加算見直し	適切な施設への絞込み ● 全身麻酔800件→2,000件（加算1）	厳格化	
新10対1	地域包括ケア病棟の新設 ● 入院料3,050点	新10対1へ移行推進 直近の高齢化対策として新設。2040年以降は回復期移行を見据える	新設	高齢救急搬送・緊急入院患者への対応に向け 新たな経営戦略が考えられる。
7対1	平均在院日数要件の見直し ● 施設基準18→16日以内へ（2日短縮）	急性期ではなく、高度急性期への扱いにポジションを引き上げる意図	厳格化	高度医療はより 安全で質の高い医療 提供体制構築に向けた改革

厚生労働省保険局医療課. 令和6年度診療報酬改定【全体概要版】
<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001238898.pdf>

医療の現場に、未来に、安全を

HOGY[®]

